

第5期南砺市協働のまちづくり推進会議 第7回推進会議 次第

日時：令和5年9月4日（水） 午後7時から

場所：南砺市役所 別館3階 大ホール

開 会

1. 委員長あいさつ
2. 今後のスケジュールについて
3. 専門部会の進捗状況の共有について
4. その他

閉 会

第5期南砺市協働のまちづくり推進会議 令和5年度スケジュール (案)

任期：令和4年2月22日～令和6年2月21日

○市長への提言を行う場合

| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|------------|-----------------------|---|----|---------------|---------------------|-----|---------------|---------------------|----|
| 推進会議 (全体会) | 第6回 推進会議 (部会設置) | | | 第7回 (進捗共有) | 第8回推進会議 (提言のまとめ) | | | 第9回推進会議 (当局から回答) | |
| 専門部会 | | 専門部会にて協議 ①どうする？みんなでまちづくり部会 (3回) ②情報公開推進部会 (3回) ③提言に関する検証及び見直し部会 (0回) | | | まとめ | | | | |
| 運営委員会 | 随時開催 | | | | | | 提言提出 (委員長) | (市当局回答作成) | |

第5期南砺市協働のまちづくり推進会議の進捗について

任期：令和4年2月22日から令和6年2月21日

平成24年7月1日に、南砺市まちづくり基本条例が制定され、市民が主体のまちづくりを進めるために地方自治法第138条の4第3項の規定に基づく「南砺市協働のまちづくり推進会議」が発足した。今期の推進会議の進捗（議題及び協議内容等）は下記のとおり。

| 日程・協議事項 | 協議内容・決定事項 |
|---|--|
| 第1回（R4.2.22） ・委嘱書交付 ・委員長、副委員長の選任 | 任期の前半を勉強会やグループディスカッションに充て、委員の条例に対する理解を深め、議論の足並みをそろえることが決定した。 |
| 第2回（R4.8.2） ・講演 元南砺市市長政策室長 長澤 孝司 氏 ・グループディスカッション | 南砺市まちづくり基本条例策定の背景について学び、推進会議の3つの役割のうち「推進」が重要であるという共通認識を得た。 |
| 第3回（R4.11.7） ・講演 ①南砺市地域づくり協議会連合会 会長 松本 久介 氏 ②一般社団法人なんと未来支援センター 事務局長 定村誠 氏 ③公益財団法人南砺幸せ未来基金 事務局長 浦井 啓子 氏 | 南砺市まちづくり基本条例の「住民自治」を実践する地域づくり協議会、中間支援組織の2団体の活動を学び、条例の進捗状況について共通認識を得た。 市民が地域づくりに参画するための仕組みは整っているが、市民の無関心が課題であるという意見があった。 |
| 第4回（R4.12.20） ・南砺市協働のまちづくり推進会議の役割について協議 ・グループディスカッション | 第5期のこれまでの会議及び第4期の提言に基づき、下記について協議した。 ①まちづくりの推進 ・市民参画、情報公開の推進 ・提言に関する検証及び見直し ②小規模多機能自治の推進 ・南砺市まちづくり基本条例第7条 ③広報・教育 ・まちづくり基本条例や協働のまちづくりの周知及び学ぶ機会の創出 |
| 第5回（R5.3.13） ・今後の進め方について | ・専門部会の設置について検討 |
| 第6回（R5.6.7） ・専門部会の設置について | ・市民参画推進部会、情報公開推進部会、提言に関する検証及び見直し部会 |

| 日程・協議事項 | 協議内容・決定事項 |
|--|--|
| 第1回情報公開推進部会（R5.6.26） ・パブリックコメントや実証実験のあり方について | 情報公開を推進するための検討項目を増やしていく必要がある |
| 第1回どうする？みんなでまちづくり部会（R5.6.28） ・部会にて協議する課題について ・部会名称について | 部会名称は「どうする？みんなでまちづくり部会」に決定する。次回はKPTワークショップを活用した課題の洗い出しを行う。 |
| 第2回どうする？みんなでまちづくり部会（R5.7.19） ・KPTワークショップを活用した課題の洗い出し | Keep（維持すべきこと、あってよかったこと）、Pobblem（問題点）、Try（やるべきこと）を話し合い、部会としてやるべきことを考えることになった。 |
| 第2回情報公開推進部会（R5.7.26） ・パブリックコメントのあり方について | パブリックコメントの適切な時期、事前広聴、委員公募など広く検討した。 |
| 第1回部会長会議（R5.7.31） | 専門部会の進捗状況を共有し、9月に進捗報告のための全体会を開催することを提案した。 |
| 第3回情報公開推進部会（R5.8.22） ・パブリックコメントの適切な開始時期及び方法に関して | 部会としての方向性 南砺市まちづくり基本条例第5条（市民の権利）を遵守するための取り組みが不足している。 ・条例のパブリックコメント実施期間 ・ターゲットを絞ったアンケート送付 ・市民が意見を言える機会の創出 等 |
| 第3回どうする？みんなでまちづくり部会（R5.8.23） ・課題の共有及び提案書の策定 | 部会としての方向性 具体的な提案を集約して提言につなげたい。 ・課題ごとに円卓会議を開催する ・地域づくり協議会の困りごとを推進会議で話す ・行政の「出前」から「出向」へ ・条例のパンフレット作成 等 |
| 第7回推進会議（全体会）（R5.9.4） ・専門部会の進捗状況の共有について | ・進捗及び今後のスケジュールについて共有 |

専門部会ごとの開催回数

- ①どうする？みんなでまちづくり部会 …… 3回
- ②情報公開推進部会 …… 3回
- ③提言に関する検証及び見直し部会 …… 0回

令和5年 月 日

南砺市長 田中 幹夫 殿

第5期南砺市協働のまちづくり推進会議
提言に関する検証及び見直し部会

部会長 能登 貴史

「小規模多機能自治の実践」5年目の検証と今後の方向性に関するワークショップ実施
の提案（提言書）

平素より市の発展と市民福祉の向上に尽力されていること、心より敬意を表します。この度は、我々が「小規模多機能自治の実践」について、5年の節目としてその実績と課題を深く検証し、市民と行政との連携をさらに強化する提案をさせていただきます。

背景：

制度スタートから早いもので5年が経過いたしました。この重要な節目に、これまでの取り組みの成果や課題を再評価し、次の5年、10年を見据えた戦略を策定する機会とすべく、本提案を申し上げます。

目的：制度の5年間の運用実績や課題を明確にする。

市民と行政の関係の変化や成果を深掘りし、協働の形をさらに進化させる。

今後の戦略や改善策の方向性を協働で策定する。

ワークショップの実施

期間：約1年

内容：専門家と市民を交えたワークショップ形式での議論と検証を複数回実施します。

方法：アンケート調査：市民の意識や制度に対する評価を収集。

データ分析：過去5年間の実績データを分析し、成果や課題を明確化。

フォーカスグループ：特定のテーマについて深く議論。

期待する効果：制度の透明性や認知度の向上。

市民と行政の協働の質の更なる向上。

今後の制度の改善や拡充方針の共同策定。

南砺市の更なる発展と市民の福祉向上のため、本提案の受け入れを賜りますようお願い申し上げます。何卒、ご検討のほどよろしくようお願い申し上げます。